



尾道市立市民病院・公立みつぎ総合病院です

尾道市立市民病院と公立みつぎ総合病院は、市民の皆さんから信頼される安全で質の高い医療を提供し、市民の健康を守ります。新しい医師が着任したことで、これまで以上に皆さんの安全・安心のため、頑張っています。

新しい医師が着任しましたのでご紹介します

尾道市立市民病院 尾道市立市民病院 (☎0848-47-1155代)



消化器内科
もりとう ゆ き
森藤由記
(高知医科大学卒業)

広島市の病院より赴任してまいりました。おなかの症状で困ったことがありましたら、なんでも相談ください。胃カメラ、大腸カメラを受けてみたいけど不安がある方なども、ぜひ一度受診していただければと思います。



整形外科
しみずけんじ
清水健志
(群馬大学卒業)

尾道市の皆様、はじめまして。2024年3月まで岡山で勤務していましたが、4月より尾道にやってきました。整形外科医として今年で10年目になります。日々の診療を通して整形外科分野における皆様のお悩みを共有、解決できるよう精進して参ります。お困りのことが有れば気軽にご相談いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



放射線科
ふくましよご
福間省吾
(岡山大学卒業)

尾道市の皆様、はじめまして。まだまだ未熟ではございますが、画像診断を通して皆様の医療に貢献できるように精一杯精進させていただきます。よろしくお願いいたします。



泌尿器科
くろあきこうだい
黒明晃大
(宮崎大学卒業)

尾道市の皆さん初めまして。3月まで岡山大学病院で勤務していましたが、4月より泌尿器科医1年目として尾道にやってきました。まだまだ慣れないところもありますが、患者さん一人ひとりに向き合ってお困りごとを一緒に解決していけるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



整形外科
もとむらけんしん
本村賢信
(福岡大学卒業)

尾道市立市民病院での初期研修を終え、整形外科医として勤務することになりました。まだまだ至らぬ点が多いですが、できる限り尾道の皆様に貢献できるように精進いたしますのでよろしくお願いいたします。

公立みつぎ総合病院 公立みつぎ総合病院 (☎0848-76-1111代)



内科
ふじた すく
藤田 俊
(広島大学卒業)

4月から赴任してまいりました藤田俊と申します。昨年まで県立広島病院に勤務しておりました。内科医として全人的な医療を行えるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



リハビリテーション科
くりはらかほ
栗原佳穂
(広島大学卒業)

卒後7年目の栗原佳穂と申します。主に回復期リハビリテーション病棟で勤務させていただきます。内科管理に加えて身体機能や活動に目を向けて診療いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



内科
かまきのぶゆき
釜木信行
(自治医科大学卒業)

このたび赴任してまいりました内科医師6年目の釜木信行と申します。福山市出身です。これまで庄原赤十字病院と安佐市民病院で内科として勤務し、このたび縁があってこちらで勤務させていただきますことになりました。至らぬ点も多々ございますが、これまでの経験を活かして皆様の健康・よりよい生活のために尽力させていただきますので、お困りの際はご相談ください。よろしくお願いいたします。



リハビリテーション科
しなすえふみや
品末典也
(広島大学卒業)

この度赴任してまいりました品末典也と申します。今年度からリハビリテーション科専攻医としてみつぎ病院で研修させていただきますことになりました。地域の皆さまのお力になれるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

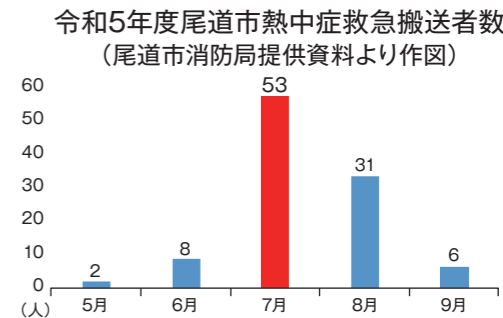


外科
ふくもと そう
福元 壮
(広島大学卒業)

この度赴任いたしました福元壮と申します。尾道市出身ですので、地元の医療に貢献できることを大変嬉しく思っております。至らない点も多々ありますが精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

早めの熱中症対策をしましょう!

熱中症とは、体温が上がり、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温の調節機能が働かなくなったりして、体温の上昇やめまい、頭痛、けいれん、重症時には死に至る危険な病気です。尾道市でも、6月から熱中症による搬送者が増え始め、7~8月にピークに達します。暑さが厳しくなる前からしっかりと熱中症対策をしましょう。



こんな人は熱中症になりやすい!

- ・二日酔い ・食事抜き ・夜更かし ・過信(「暑さには慣れっこ」は危険×)

熱中症対策をしましょう! (厚生労働省/熱中症の予防についてのリーフレットより)

こまめに水分補給する

- 扇風機やエアコンで温度をこまめに調節
- 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- 外出時には日傘や帽子を着用
- 天気の良い日は日陰の利用、こまめな休憩
- 吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣服を着用
- 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

室内でも! 喉が乾いていなくても!

健康推進課 (☎0848-24-1962)

医師会 だより #31



脳脊髄液漏出症治療センターから

脳 脊髄液漏出症治療センター開設から2024年3月末で1年が経過しました。現在は週に約10件の硬膜外ブラッドパッチ(EBP)治療を行っています。患者の約60%が県内から、残りの40%は全国各地からです。全国的に治療施設が足りないのです。さらに当院のEBP治療は最先端で治療成績が良好です。そのため新規患者だけでなく、他施設でうまくいかない症例も紹介されることとなります。

脳脊髄液漏出症は小児から高齢者まで幅広い年代に発症し、年齢により臨床像が異なります。20年前に福山で診療を始めた頃は、交通事故などの外傷による成人患者が一番の問題でした。現在は中高生を中心に10歳台の患者が約半数を占めています。起立性頭痛だけでなく、起立性調節障害(低血圧)、睡眠・覚醒障害(朝起きられない)、耐えがたい倦怠感、消化器症状(腹痛、下痢、食思不振)などが、この年代の主な症状です。不登校~引きこもりになる重症例も珍しくはありません。

この5年ほどで診断~治療手順はほぼ確立さ

れました。脳脊髄液漏出症が疑われた患者には外来で脊髄MRI検査をします。特徴的な所見からおおよその診断が可能です。次に硬膜外持続注入(4日間の入院)に進みます。硬膜外麻酔の要領で挿入したカテーテルから、人工髄液を5~20ml/時間の速度で注入します。明らかな症状改善があれば脳脊髄液漏出症と考えてまず間違いありません。診断的治療と呼ばれる方法です。この症状改善は一時的で数日~数週間で効果が消えるのが普通です。

EBPは5日間の入院で行います。初日のCT脊髄造影検査で髄液漏出部位を診断し、2日目にEBP治療、3日間の安静~経過観察後に退院します。1~2週間の自宅安静をお勧めしています。1回の治療で約半数、1~2回の追加治療で90%が治癒、10%程度が難治例といったところですが、現在EBP治療は4カ月待ちの状態です。治療施設拡充が急務です。

尾道市立市民病院
守山英二

■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。 日日時期間 場所 対象 内容 電話 料金 持ち物 締切